



てくと

第66号

令和2年10月1日発行

発行：社会福祉法人
多摩大和園

編集：広報委員会

印刷：(株)共同印刷所

〒207-0003 東京都東大和市狭山2-1264-5

TEL042-563-8181 FAX042-565-5170

<http://www.tamayamatoen.net>

サービスセンターさくら苑敬老会

『新しい生活様式の中で・・・』

新型コロナウイルス感染症、コロナ禍を毎日のように耳にして目にして、気持ちが悪くなることもあると思います。

コロナ禍の「禍」は、「災い」や「災難」「不幸なできごと」を意味することばです。「禍」の対義語は「福」で、四文字熟語には「転禍為福」（てんかいふく）があります。これは災い転じて福となす、身に降りかかった災難をうまく活用して、幸せになるようにする意味があります。新しい生活様式の中、今まで当たり前だったことができず不自由を感じることも多いですが、生活を見直すよい機会にもなっていると思います。あらためて日々の暮らしを見直し、自分らしさや自分にとっての幸せを考える時間としていくのもよいのではないかと思います。

秋を感じたいと思いながら、過日、規模は縮小しましたが、敬老祝賀会を開催して皆様のご長寿とご健康をお祝いいたしました。ご利用者の皆様は戦争、終戦後の混乱期、幾度もの大きな災害や混乱をご経験され、そのたびに再び安心して生活できる社会の実現に尽力されてきました。このコロナ禍も人生の先輩であるご利用者に負けないように克服していき、一日も早く以前のようになさくら苑になってほしいと心から願うばかりです。

さくら苑 苑長 米持尚利

特養・ショートステイ

【夏祭りミチコロナ】

「コロナ禍ですが、少しでも夏を感じていただきたくて、スタッフ手作りの『夏祭り』を開催しました。

笑顔満開の一日でした。



サービスセンター

【夏祭りミチコロナ】

夏のレクリエーションの一環として『夏祭り』を開催しました。



令和2年10月1日

さくら苑

特養・ショートステイ

【納涼祭】

今年はご利用者と職員だけで一緒に楽しめる内容の納涼祭を開催しました。



【すいか割り】

皆さん子供の頃を思い出して楽しみました。スイカはとても甘くて美味しかったです。



【料理サークル】

取れたてのピーマンで肉詰めを作りました。割烹着が良くお似合いです。



【活動風景】

サービスセンター
リハビリや趣味活動を通して、活気のあるサービスを提供しています。



【敬老祝賀会】

ご利用者さんに楽しんでもらおうと、職員が体を張って笑いを取りました。



きよはら

令和2年10月1日

在宅サービスセンターきよはら

【おやつ作り 五月】

今回は『野沢菜・南瓜あやき』を皆で力を合わせて作りました。女性だけではなく男性利用者の活躍も目立った行事となりました。



【じゃがいも掘り 七月】

きよはらの畑でじゃがいも掘りを行いました。収穫したじゃがいもは、ふかし芋とポテトフライにして頂きました。



ほっと支援センター

【高齢者とペット】

ペットと一緒に生活する高齢者宅にお邪魔する機会が増えていきます。ペットは家族の一員、皆さん生き生きと世話をしていると思います。しかし命ある動物を飼うということは、生きがいや役割を持てる反面、大きな責任も伴います。飼い主の体調悪化により、世話が十分に受けられない状態のペットに遭遇したり、ペットがいることで、飼い主自身が必要な支援を受けられないケースもありました。飼い主である高齢者とペット双方が幸せでいられるよう、様々な準備や工夫、社会資源が必要に感じます。

昨年度の地域ケア会議にて、高齢者とペットをテーマに情報交換、議論を重ねましたが、ペットに関する社会資源は少ない状況です。



地域でできることは何か？と継続して考えることが大切だと感じました。皆さまもそれぞれの地域で考えていただけると幸いです。

